

平成29年度 学校評価のまとめ

| | | | |
|--|--|---|--|
| <p>重点 本 年度 の 目 標</p> | <p>1 望ましい学習習慣、生活習慣の確立 2 授業力の向上と確かな学力の育成 3 キャリア教育の一層の充実 4 生徒の帰属意識を高める活発な生徒会活動と部活動 5 総合学科としての特色づくりの推進と魅力の発進</p> | | |
| <p>分 掌 学 年</p> | <p>重 点 目 標</p> | <p>具 体 的 方 策</p> | <p>評 価 結 果 と 課 題</p> |
| <p>総 務</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・行事の円滑な運営と行事ボランティアの充実 ・同窓会10周年記念総会の成功 ・防災対策の充実 ・総務部の仕事の見直しと改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・行事を通じて、自主性・責任感を育てる。 ・同窓会10周年記念総会に向け役員との連携強化をはかり、確実に責任を果たす。 ・防災啓発運動を充実させ、防災マニュアルを完成させる。 ・昨年度の反省を活かし、必要に応じて内の改善を心がける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・行事ボランティアを通じて、自主性及び責任感を身に付けることができた。引き続き、生徒が活躍できる場面を作っていく。 ・同窓会10周年記念総会は成功した。今後は、新体制の中で組織強化を図りたい。 ・目標の「防災マニュアル」は完成した。次年度は防災活動の工夫と強化を図りたい。 ・業務が多岐に渡るため、工夫、精選、効率化等を引き続き進めていきたい。 |
| <p>教 務</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい学習習慣の確立と確かな学力の育成 ・言語活動を充実させた思考力・判断力・表現力を育成させるための授業改善 ・総合学科の特色を生かし、プレゼンテーション能力の向上を目指した授業展開と発表の場の設定 ・チーム業務の徹底による分掌の仕事の効率化と改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・適切な課題を与え、きめ細かい提出指導を行い、家庭学習の習慣を定着させる。 ・公開授業週間において、アクティブ・ラーニングを全職員に取り組んでもらうとともに、この期間の授業参観を義務化し、授業の質を変える契機とする。 ・総合学科発表会において、様々な系列の授業や部活動における取組を発表し、授業改善に役立てる。また、継続して実施していくために閉鎖部室の連結を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ・ラーニングの視点を取り入れながら、授業改善意識は高まりつつある。今後も学科の特徴を生かせるよう、積極的に情報発信を行っていききたい。 ・総合学科発表会については、2年目を迎えより充実したものとなった。継続・発展的な実施に向け、関係分掌と連携し改善を図りながら実施していききたい。 ・長期休業明けの課題考査において、当該学年団と協力して安易な欠席者が減少するように効果的な対策をとっていききたい。 |
| <p>生 徒 指 導</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本校最寄り駅からの自転車通学運用に向けてのシステムの構築 ・品位ある身だしなみ、及びマナー意識の確立（生徒、職員への啓発活動） ・いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場や通学路、危険箇所を巡回し、啓発活動を行っていく。 ・節度ある身だしなみから品位のある身だしなみへ、様々な指導を通して生徒に規範意識を持たせるための啓発活動を行い、問題行動の減少に努める。 ・全校集会や学年集会において、いじめ防止をテーマとした活動を行い、主体的に考える機会を与える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・最寄り駅から自転車通学を許可したが、駅や構内駐輪場を含めてスムーズに運用できた。今後も交通ルールの徹底を図り、交通安全やマナー意識の向上につなげたい。 ・対応マニュアル等を教員に配布していじめの未然防止・早期発見に努めた。人権講話では、いじめ被害者家族を招き講演を行い身近な問題として自覚を促すことができた。ただ、SNS上でのトラブルも数件あり、生徒が主体的に考える取組を次年度以降も継続して実践していく必要がある。 |
| <p>進 路 指 導</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自己の進路実現に向けて低学年からの基礎学力の養成と自ら学び社会に役立つとする姿勢の育成 ・総合学科の特色を生かしたきめ細かい進路指導や職業体験等のキャリア教育の一層の充実を通して生徒の夢の実現 ・新しい入試制度の理解を深めるための情報提供の活発化 ・就職支援員との連携を活かした業務の精選 | <ul style="list-style-type: none"> ・進学者対象に早朝補習、夏期補習、土曜学習等を実施し、基礎的・基本的な知識の確実な定着を図り、確かな学力の向上を目指す。 ・就業体験参加者を増加させ、ジュニアインターンシップ及び就職ガイダンス等を通して社会人としてふさわしい職業観を形成させる。 ・よりよい進路選択のためのガイダンス、「夢ナビライブ」等の大学の模擬授業や外部講座などへの積極的な参加を促進し、各学年へ情報を提供する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1年生は基礎的な知識・技能の習得と生徒の特性に合わせた、指導を継続している。2年生は授業・補習・模試への取組等、よく健闘している。3年生もこれまでの積み重ねでセンター試験を活用した一般入学試験に出願できた生徒もいた。 ・次年度より高大接続改革の該当学年が入学するため、その対応に向けて各教員、分掌間で協力して対応していききたい。 ・キャリア教育充実を図るため、生徒が「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を組み立て、学科の特色を生かした評価・改善をしたい。 |
| <p>保 健 厚 生</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備を通して子供たちの豊かな感性を育成 ・主体的に学習環境の美化を図る態度の育成 ・職員への声かけを通して良好な健康管理を維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・稲沢高校にお願いをし、稲沢高校生に育てられた四季折々の花を分けてもらい、中庭の入り口付近に並べる。 ・定期的に水やりボランティアを使い、綺麗な状態を維持させる | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の感性豊かな心を育成するために、中庭の景観に着目し、プランターを設置したところ、興味を持った生徒の姿も見受けられた。季節に応じた対応を目指したい。 ・トイレの清掃状況が日により差が目立ち、特にスリッパの整理整頓が不十分な箇所もあったため次年度の課題とした。 |
| <p>図 書 研 修</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・図書室利用者の増加 ・初任者、5年経験者、10年経験者研修の円滑な運営 ・書庫の整理 ・多忙化解消に向け、各種分担する業務負荷の平準化 | <ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書、読書感想文、BOOK WAGON、ビブリオバトル、チャレンジ20などを通して図書室利用の啓発活動を行う。 ・研修者と綿密に打ち合わせ、事前事後の指導を行う。 ・効率的な書籍の整理を行う。 ・教員間の連絡を密にし、遠慮なく業務の補助を依頼できる雰囲気をつくる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・図書室利用者は、増加した。ただし、利用者増が貸出冊数の増加に直結してはいないことが課題である。さらなる情報発信に努めたい。 ・ビブリオバトルなど生徒達の知的好奇心をくすぐるようなイベントは十分な満足度を得た。今後も実施していく。 ・研修は計画通り実行した。 |

| | | | |
|---|---|--|---|
| 生徒会 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒会主催の学校行事や部活動に各生徒が積極的に参加することにより、主体性・自立性の養成と充実した学校生活を送ることができるためのサポート | <ul style="list-style-type: none"> 学校祭をはじめとする諸行事において、生徒会執行部が自主的さらには主体的に運営できるように適切なアドバイスを行う。 諸行事において、各生徒の適性に応じて自主的かつ積極的に参加できる場を提供する。 部活に関する環境整備を進め、より活発な部活動となるようにサポートする。 顧問の先生に土日のどちらかは休日となるような練習計画の立て方をしてもらう。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校祭は多くの生徒が主体的かつ積極的に活動し満足度がたいへん高かった。来年度も充実感の得られる行事にしていきたい。 部活動では生徒の積極的な努力と、顧問の粘り強い指導で、技術の向上や生徒の人間的な成長につながった。清掃ボランティア活動など様々な行事や大会での結果にも成果が表れていた。引き続き活性化のために環境面でのサポートに取り組んでいく。 土日のどちらかが休みになるような練習計画の立て方を定着させる。 |
| 総合推進 | <ul style="list-style-type: none"> 「3年間を見通した身に付けるべき力と活動」の共通認識の上で「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」の内容の検討を継続し、課題解決型学習を第3学年で導入 総合学科の特色づくりとして、生徒主体のPR活動を進め、生徒の頑張る姿をアピール 分掌内での役割分担の明確化と行事の精選 | <ul style="list-style-type: none"> 「総合的な学習の時間」(第3学年)の内容を課題解決型学習に変え、学年と協議し押し進める。「総合的な学習の時間」(第2学年)では、NIEを継続し、主体的な活動ができるよう計画し進める。 学校のPRを生徒主体にし、頑張る姿や杏和高校の良さ・面白さをアピールできるPR方法を考える。(学校説明会と体験入学を工夫し内容変更する。) | <ul style="list-style-type: none"> 「3年間を見通した身に付けるべき力と活動」について確認し、「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」で「聞く・考える・伝える力」の強化を図り、「コミュニケーション力」「プレゼンテーション能力」が3年間で身に付く内容検討を継続する。3年生は、課題解決型学習を行う予定である。 クリアファイルデザインコンテストは、周知方法、募集時期を工夫した。 学校説明会等は生徒ボランティアが多く活躍し、良いPR活動ができた。今年の内容を踏襲しつつ、中身の濃い学校全体の行事として取り組めるよう検討していく。 今年度は、総合学科発表会の仕事分担を申し合わせ確認したが、今後学校全体の行事としてさらに良くなるように、教務部と連携し計画・提案する。 |
| 情報推進 | <ul style="list-style-type: none"> 校務支援システムの運用範囲の拡張により校務の情報化、軽減化を推進 hirobaTの活用 ホームページの運用・管理 | <ul style="list-style-type: none"> 校務支援システムのグループウェア機能及び生徒管理機能を活用する。 hirobaTの活用を周知徹底する。 各分掌等からの情報をタイムリーにホームページに掲載する。 | <ul style="list-style-type: none"> 校務支援システムを本格導入し、2年が経過したが、本校の実情に合わせるためには、今後もシステムの改良が必要である。 hirobaTの活用は周知徹底されている。 ホームページは、随時更新している。情報発信量が増加し、閲覧回数も増加した。 |
| 1学年 | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣及び安定した学校生活のリズムの確立 学習意欲の向上と学習習慣の確立 卒業後の進路を考えさせ、それを見据えたコース・科目選択 部活動や学校行事に積極的に取り組む姿勢の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 挨拶や言葉遣い、身だしなみなどのマナー指導を適切に行うとともに個々の生徒の状況把握を行い適切なアドバイスをする。 授業の重要性を呼びかけるとともに、必要に応じて与えた適量の課題については期限を守らせて提出させる。 「産業社会と人間」において社会や将来を考えさせ、次年度に向けたコースや科目選択のための指導を実施する。 学校行事や部活動の取組状況や参加状況を把握し、必要であればアドバイスを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 学力をつけることの意味、大切さを生徒に訴え、学習面での努力を促していくことの必要性を感じている。 心に問題を抱えた生徒のケアも引き続き力を入れていきたい。 自己理解を進め、自分の進路を深く考えさせた上で、具体的な目標を設定させるとともに、その実現に向けて努力させたい。 行事等においては、失敗を恐れず生徒の力で企画・実行できるように意識付けをし、自己表現力や実行力を身に付けさせたい。 |
| 2学年 | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣及び継続的な家庭学習の確立と学力の向上 進路目標の確立と具体化 部活動や学校行事への積極的な参加 | <ul style="list-style-type: none"> 挨拶や身だしなみ等のルールやマナーを守ることの大切さに自ら気づき、正せるような指導をする。 卒業後の進路についての情報収集や、上級学校における体験講座などへの積極的な参加を促し、進路実現に向けて具体的に行動するように学年全体で指導する。 教員自らも部活動や学校行事に積極的に関わること、意欲的な参加を促す。 朝の健康観察や授業等様々な点から生徒の変化を敏感に察知し、全体で対応する。 | <ul style="list-style-type: none"> 特別指導数は少ないが、長欠傾向の生徒が多くいるため、欠席数が多かった。今後も粘り強く指導をしていく必要がある。 模擬試験の結果は例年並であるが、家庭での学習量は多くない。課題の提出状況は学年全体としては悪くはないが、個々の生徒において、なかなか提出できない者もあり、今後も粘り強く指導していく必要性を感じる。 |
| 3学年 | <ul style="list-style-type: none"> 次のステージで通用する考え方の醸成 母校を大切にしたい想いをもち、失敗を恐れず、粘り強く努力する生徒の育成 自主性を大切にし、真の自律の育成 | <ul style="list-style-type: none"> これまでと同様に挨拶を自分からすること、身だしなみを整えること、時間を意識した行動を取ること、掃除にしっかりと取り組むことを求める。 自分で考え決断したことに自信を持たせる声かけをし、成功や失敗で評価することなく、挑戦したことへの対価を伝える。 3年間の集大成として、できる限りのことを自身で決断させる。教員はあくまでサポートに徹し、自ら動く姿勢を保つ。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート結果 杏和高校に入学して良かった…約96% 杏和高校で学んだことが次に つながる…約92% 杏和高校で自ら考え行動する力がついた…約95% 3年間継続して取り組んできた「自主性の育成」「帰属意識の向上」「高校卒業後にも活躍できる人材の育成」が結果として達成できたと思われる。 |
| <p style="text-align: center;">総合評価</p> <p>進路結果、学校行事、ボランティアやマスコミへの登場など、生徒の努力と学校の指導の成果が表に出た1年だった。総合学科ならではの学びが生徒に主体性を育む機会を与え生徒の成長や学校の雰囲気にも反映されている。今後さらなる成熟を期待したい。</p> | | | |